

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部会議（第34回）

日時：令和4年1月19日（水）

午後4時～

場所：第二庁舎4階 災害対策本部室

次 第

1 開 会

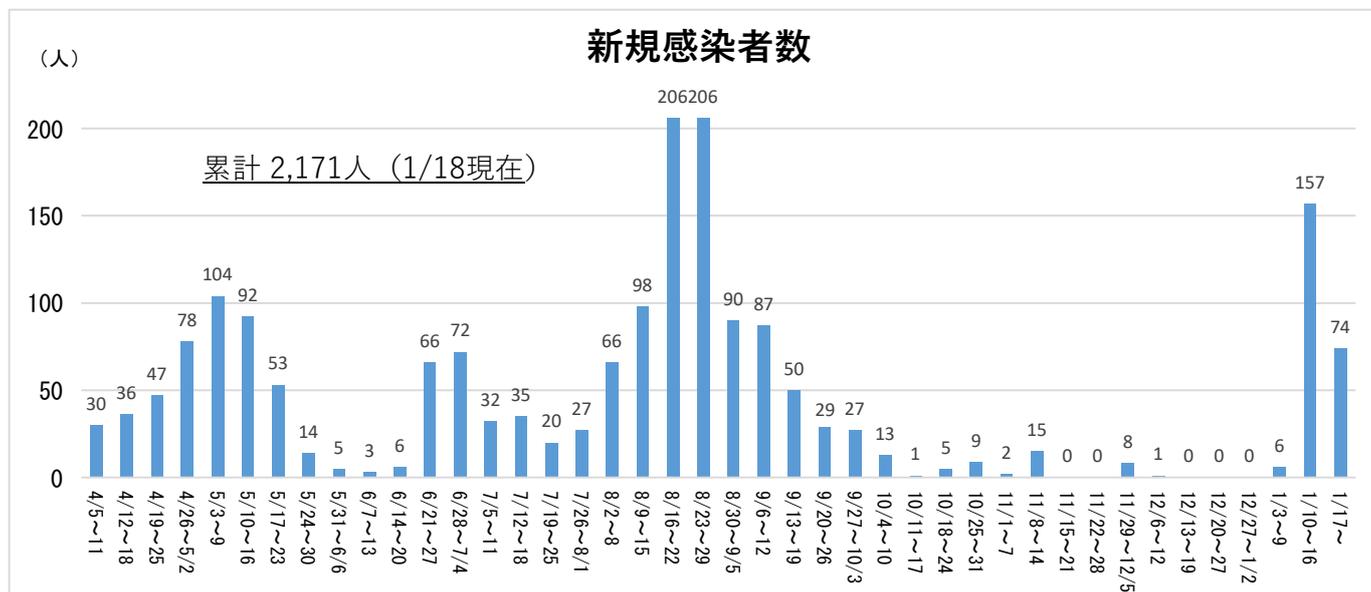
2 議 題

- (1) 新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について（資料1）
- (2) 新型コロナウイルス感染者の自宅療養の開始について（資料2）
- (3) PCR等検査無料化事業の実施状況について（資料3）
- (4) 新型コロナワクチンの接種について（資料4）
- (5) 感染警戒レベル等について（資料5）
- (6) 新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について（資料6）
- (7) その他

3 知事指示

4 閉 会

新型コロナウイルス感染者の県内発生状況等について

令和4年1月19日
健康福祉部

入退院者数等状況 (1/18現在)

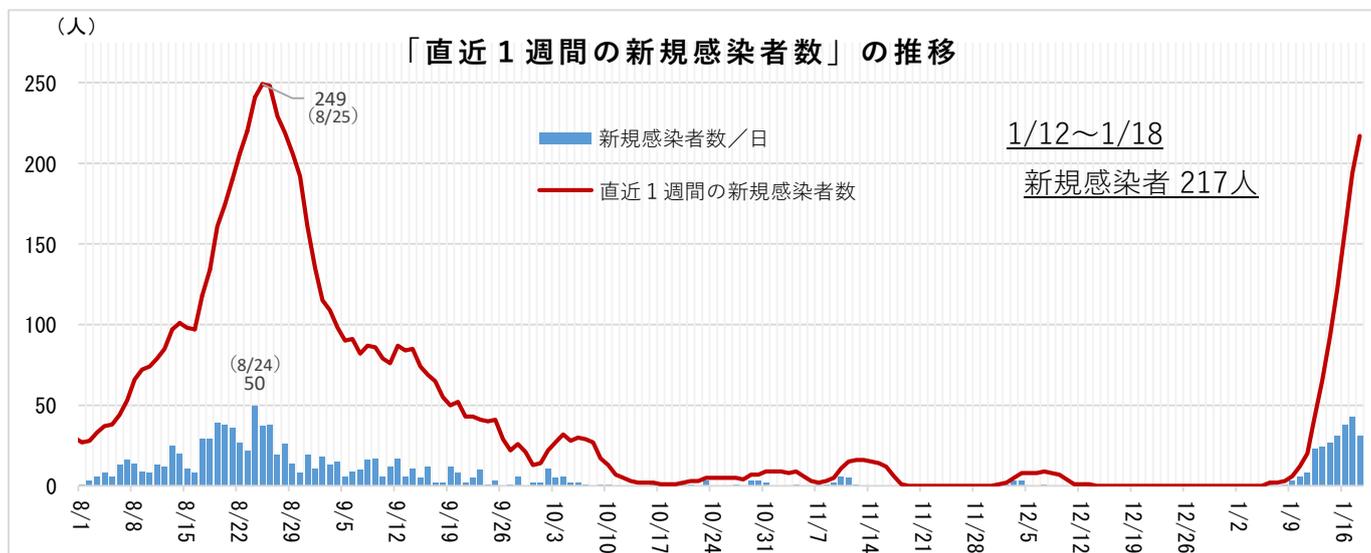
累計感染者数	入院者	うち重症者	宿泊療養者	社会福祉施設等療養者	自宅療養者	入院等調整中	退院・療養解除者	死亡者
2,171人	53人	0人	87人	0人	0人	87人	1,917人	27人

1月以降の主な感染事例 ※【 】は保健所管内

【能代】・会食 7人(1/11)
・飲食店 31人(1/12-16)
・事業所 8人(1/15-16)
・職場 7人(1/16)

【由利本荘】・会食 8人(1/14)
・保育園 16人(1/16-17)

【秋田市】・自衛隊 9人(1/17)
・クリニック 9人(1/17-18)



変異株の状況

①変異株スクリーニング検査 (1月16日現在)

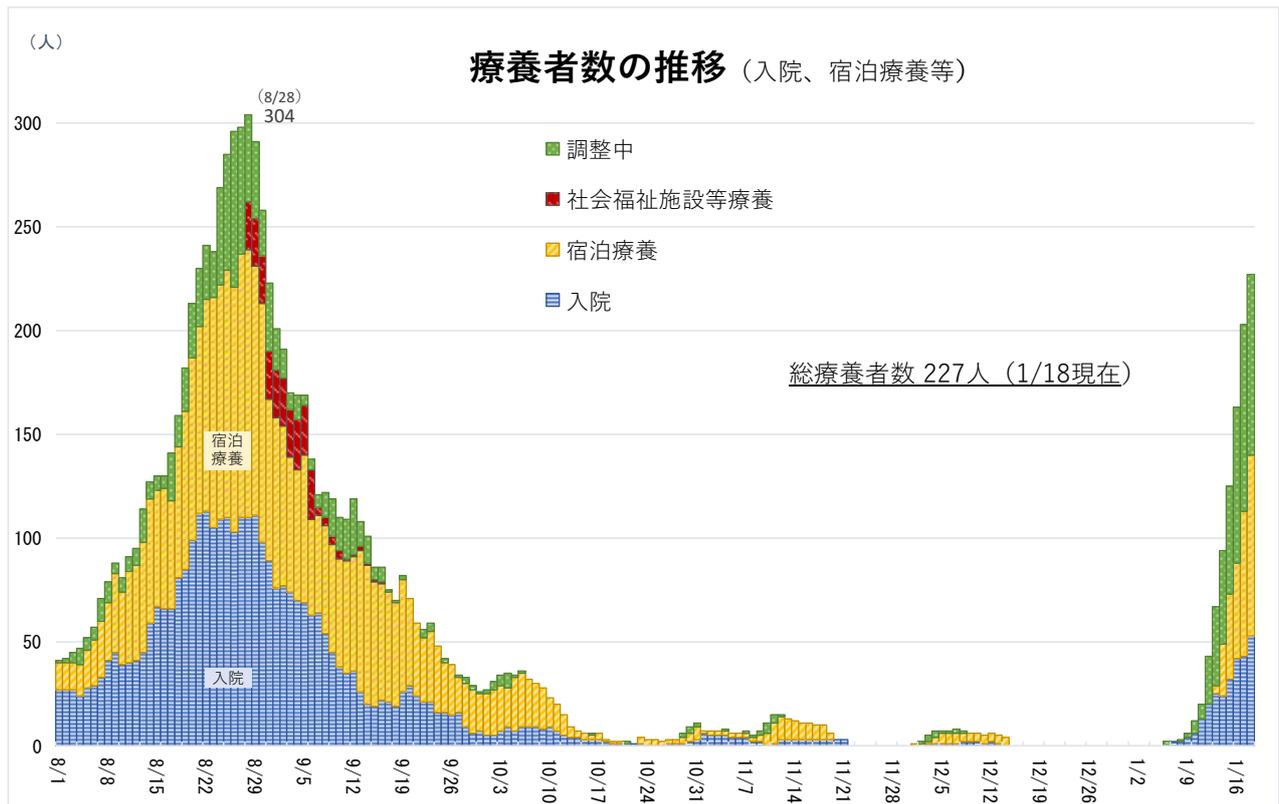
検査期間	N501Y変異		L452R変異	
	検査件数	うち陽性 (陽性率)	検査件数	うち陽性 (陽性率)
1/3~1/9	12	12 (100%)	12	0 (0%)
1/10~1/16	69	69 (100%)	108	0 (0%)

②ゲノム解析 (1月12日現在)

種類	件数
オミクロン株	2

※N501Y変異「陽性」、L452R変異「陰性」でオミクロン株疑い

※①は県健康環境センター及び秋田市保健所、②は秋田大学において実施



入院病床及び宿泊療養施設の使用状況 (1/18現在)

(人、床・室)

入院病床 (フェーズ5)					宿泊療養施設		
入院者数 (うち重症)	現在の確保病床数 (うち重症者用)	病床使用率 (重症者用へース)	最大確保 想定病床数 (うち重症者用)	病床使用率 (重症者用へース)	療養者数	現在の確保居室数 (収容人員数)	居室使用率 (収容人員へース)
① (②)	③ (④)	①/③ (②/④)	⑤ (⑥)	①/⑤ (②/⑥)	⑦	⑧ (⑨)	⑦/⑧ (⑦/⑨)
53 (0)	229 (15)	23.1% (0.0%)	289 (24)	18.3% (0.0%)	87	395 (488)	22.0% (17.8%)

注) 上記のほか、87人が入院・療養調整中

中和抗体薬の県内使用実績 (1/7現在)

ロナプリーブ：16病院 177症例 (うち循環器・脳脊髄センター 58症例)

ゼビュディ：1病院 2症例

年代別 累計感染者数 (1/18現在)

(人)

10歳未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
156	272	425	330	358	235	158	113	124	2,171
(7%)	(13%)	(20%)	(15%)	(16%)	(11%)	(7%)	(5%)	(6%)	(100%)

管轄保健所別 累計感染者数 (1/18現在)

(人)

大館	北秋田	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	大仙	横手	湯沢	計
88	12	190	175	1,147	180	246	66	67	2,171
(4%)	(1%)	(9%)	(8%)	(53%)	(8%)	(11%)	(3%)	(3%)	(100%)

年代区分別感染者数の割合

(R4年1月18日現在)

通算：R2年3月～R4年1月
(2,171人)

うち R3年5月 (300人)

うち R3年6月 (120人)

うち R3年7月 (145人)

うち R3年8月 (604人)

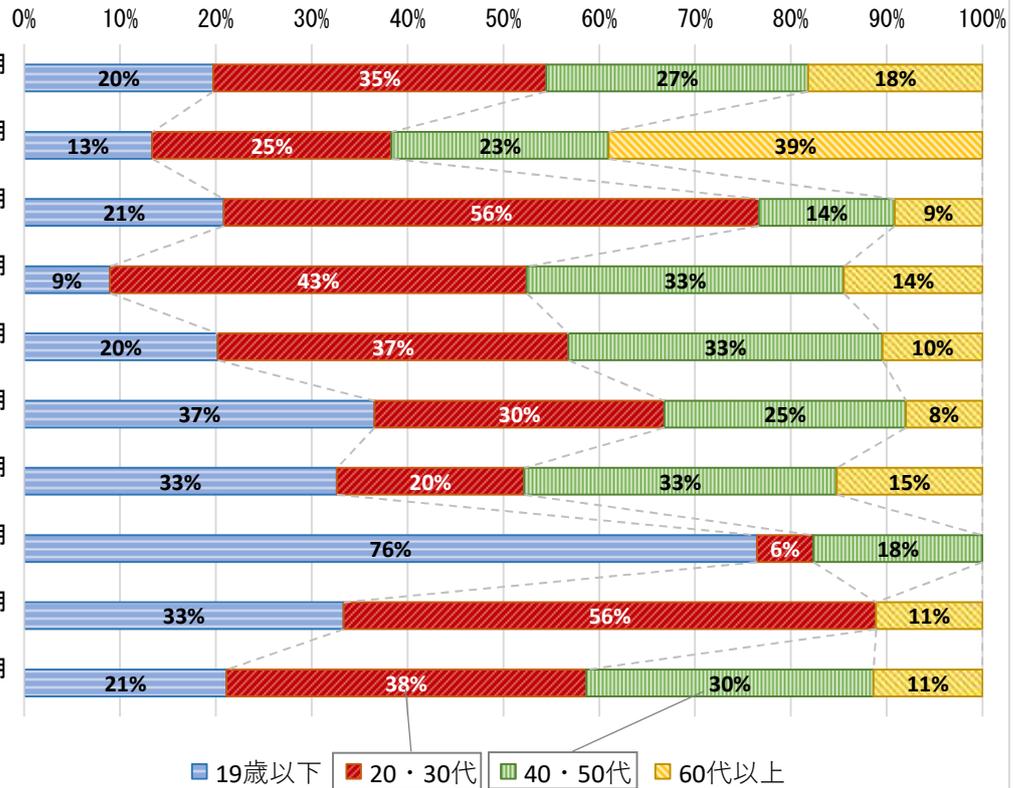
うち R3年9月 (238人)

うち R3年10月 (46人)

うち R3年11月 (17人)

うち R3年12月 (9人)

うち R4年1月 (237人)



管轄保健所別感染者数の割合

(R4年1月18日現在)

通算：R2年3月～R4年1月
(2,171人)

うち R3年5月 (300人)

うち R3年6月 (120人)

うち R3年7月 (145人)

うち R3年8月 (604人)

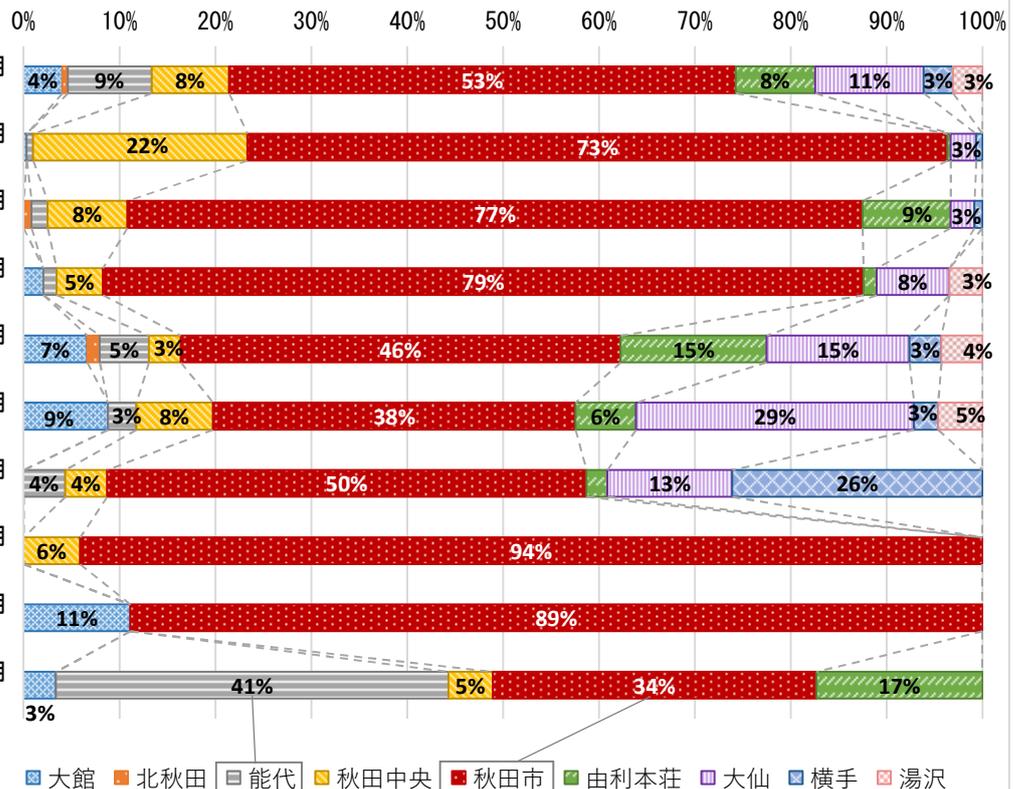
うち R3年9月 (238人)

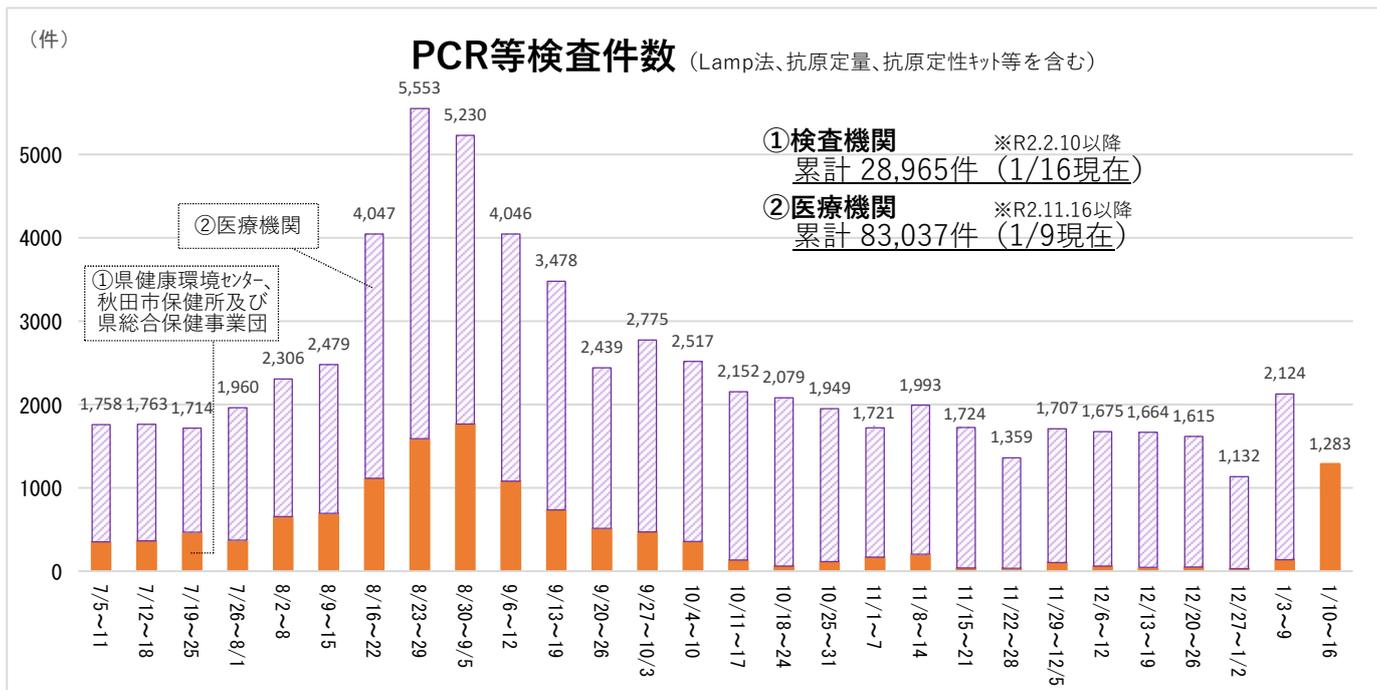
うち R3年10月 (46人)

うち R3年11月 (17人)

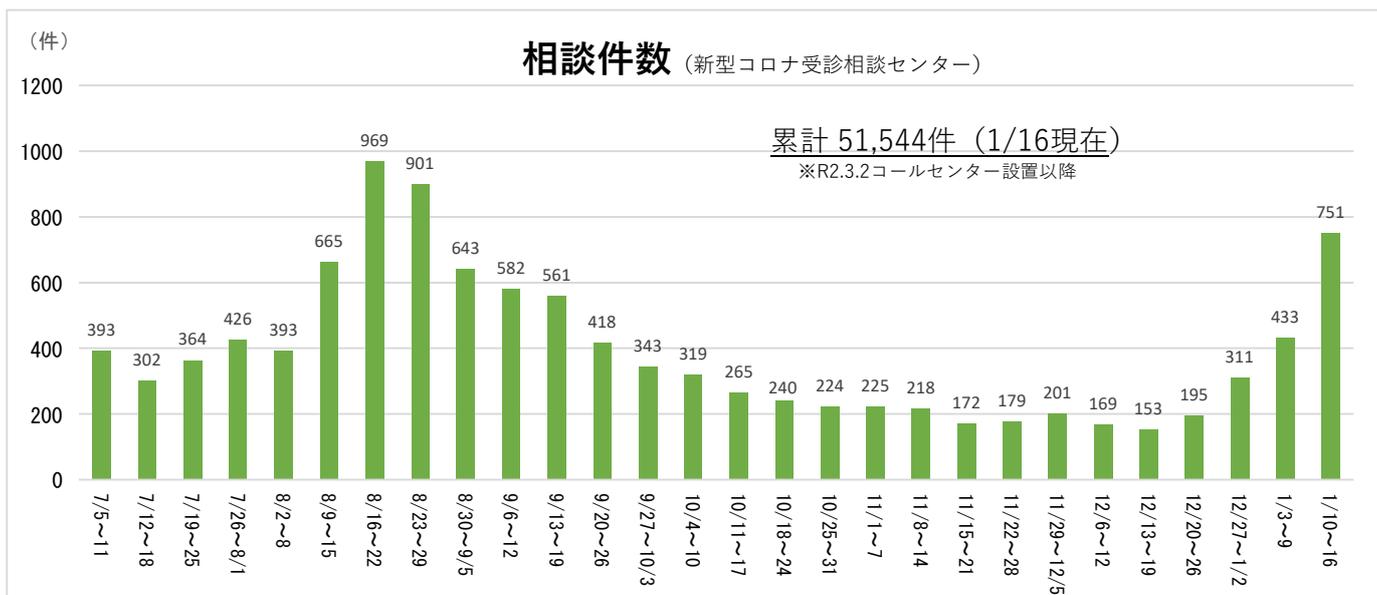
うち R3年12月 (9人)

うち R4年1月 (237人)

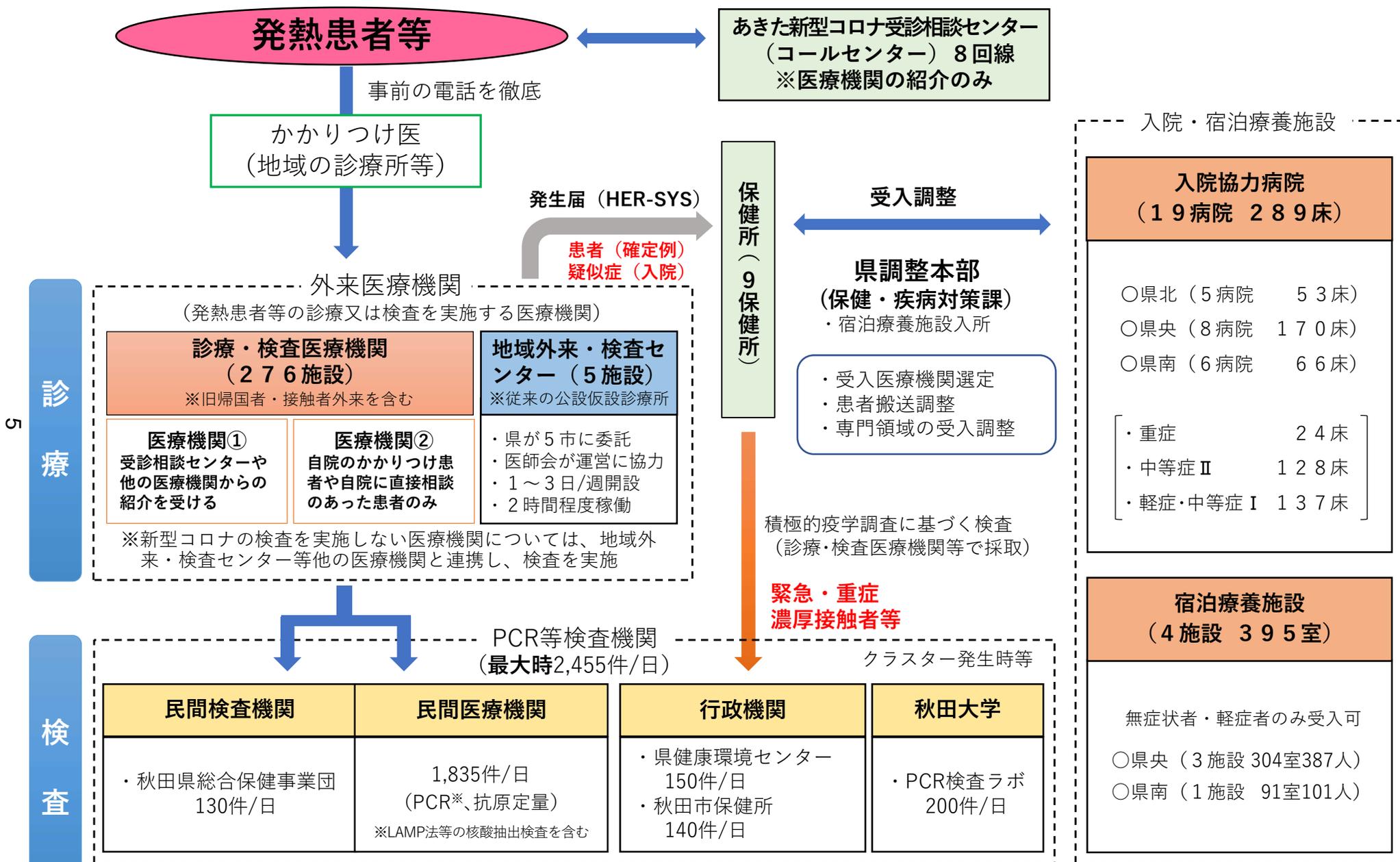




※医療機関における検査件数は、R2.11.16以降の検査から集計を開始。件数は、新型コロナウイルス感染症医療機関等情報支援システム (G-MIS) から県が集計した件数と、県医師会が集計した件数を合計した数値 (G-MIS集計分は1/9まで、県医師会集計分は11/28までの件数)



秋田県新型コロナウイルス感染症 外来医療・入院医療 全体図



5

診療

検査

※診療・検査医療機関、高齢者・障害者施設で使用する抗原定性検査キットも含め、最大時8,340件/日

令和4年1月12日現在

新型コロナウイルス感染者の自宅療養の開始について

令和 4 年 1 月 1 9 日
健 康 福 祉 部

オミクロン株による感染の急拡大を受け、患者の症状に応じて必要な治療や健康観察を行う病床・宿泊療養居室が確保できるよう、これまで宿泊療養としていた者のうち、重症化リスクの少ない無症状者・軽症者について、自宅療養を導入する。

1 現状分析

- 1月18日現在、総療養者数は227人で、重症度別では軽症・無症状者が99%、療養先別では宿泊療養が87人と入院53人の1.5倍となっている。

※デルタ株による第5波ピーク時（昨年8月28日時点）には中等症の割合は15%であったが、オミクロン株による第6波（昨日時点）では1%に低下している。

- 1月以降の急激な感染者増加とともに、軽症・無症状者の割合が大きいため、宿泊療養の対象者が大幅に増加し、宿泊療養施設への受入れが困難になることが予想される。

※入院患者については、適用者の割合が小さいことから、現在のフェーズ5での対応又は最大フェーズへの引き上げにより、当面は対応可能な状況にある。

【参考】療養者の状況

基準日	総療養者	〔重症度別〕				〔療養先別〕			
		重症	中等症	軽症	無症状	入院	宿泊療養	社会福祉施設等療養	調整中
R4.1.18 (第6波)	227人	0人 (0%)	3人 (1%)	191人 (84%)	33人 (15%)	53人	87人	0人	87人
R3.8.28 (第5波ピーク)	304人	3人 (1%)	45人 (15%)	192人 (63%)	64人 (21%)	110人	129人	23人	42人

2 開始基準

- 感染拡大傾向にあり、次のいずれかの基準に到達し、入院病床や宿泊療養居室のひっ迫が想定される段階で自宅療養を開始する。
 - ・入院病床の使用率が、最大確保病床の4割程度（約110床）
 - ・宿泊療養居室の使用率が、確保室数の4割程度（約160室）

3 対象者

- 自宅療養の対象者は、重症化リスクや症状等を考慮し、次のとおりとする。
 - ・入院又は宿泊療養者のうち、症状が軽快し、医師が自宅療養可能と判断した者
 - ・宿泊療養対象者のうち、40歳未満で重症リスクを持たない無症状者及び軽症者のうち、自宅療養に支障がない者

4 自宅療養の体制

(1) 自宅療養の調整

- ・保健所からの感染者情報をもとに、県調整本部の判断に基づき自宅療養を開始

(2) 健康観察等

- ・かかりつけ医等やフォローアップセンターによる健康観察等の実施

【協力施設】 診療所 60 施設、薬局 370 施設、訪問看護ステーション 7 施設 (1/14 現在)

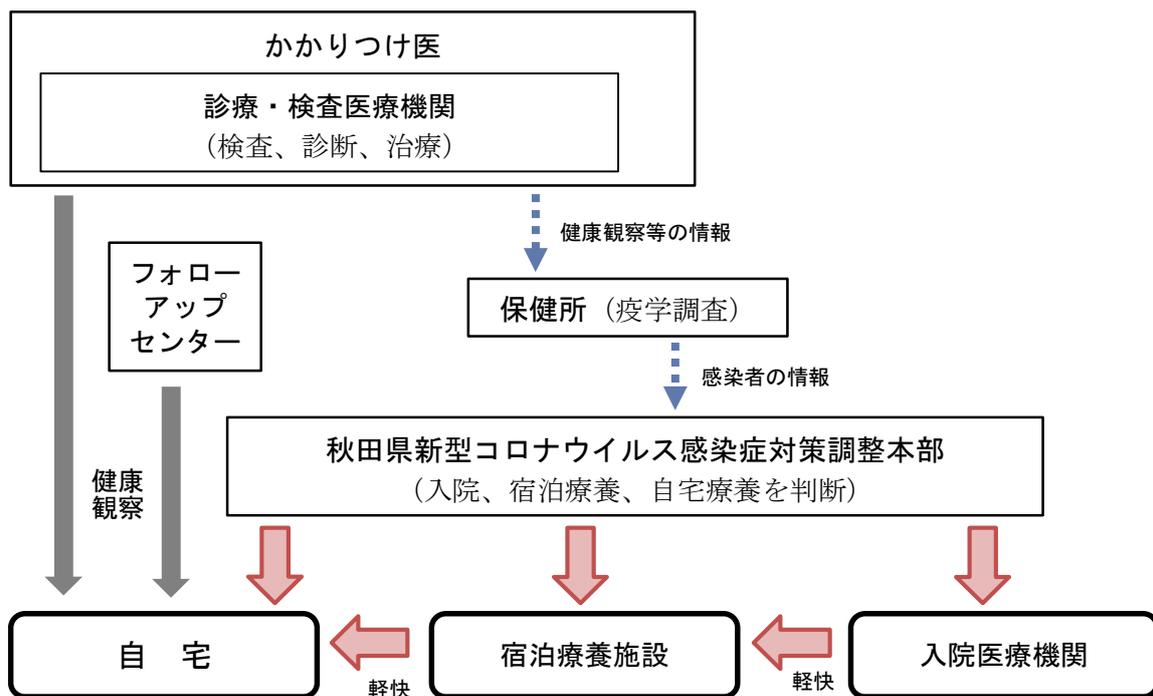
(3) 療養支援

- ・パルスオキシメーターの貸し出し (県・秋田市で計 880 個保有)
- ・食料品及び日用品 (トイレットペーパー、生理用品、粉ミルク等) の配送

(4) 体調が変化した場合の対応

- ・夜間等の相談体制の整備

<自宅療養の体制>



PCR等検査無料化事業の実施状況について

令和4年1月19日
健康福祉部

1 無料検査の実施状況

- 12月24日から、「健康上の理由等によりワクチンが接種できない無症状の方」がワクチン・検査パッケージ等のために必要となる検査の無料化を実施
- 1月5日から、オミクロン株への当面の対応のため、ワクチン接種歴に関わらず、感染に不安を感じる県民の方に検査無料化の対象を拡大（1月31日まで）

<無料検査実績>

(件)

期 間	PCR検査	抗原定性検査	計	(うち陽性)
12/24(金)～1/4(火)	75	19	94	(0)
1/5(水)～1/9(日)	886	182	1,068	(0)
1/10(月)～1/16(日)	1,674	373	2,047	(4)
計	2,635	574	3,209	(4)

2 無料検査の実施場所

- 検査箇所数：31か所（1月19日現在）※別添一覧参照
 - ・調剤薬局ツルハドラッグ県内13か所で1月19日から新たに実施
 - ・検査キャパシティは31か所で約900件/日（事業者の実施見込みによる）
- 今後も順次拡充を予定しており、最新の情報は県のウェブサイトに掲載
URL：<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/61915>

※発熱等の症状がある場合について

- ・発熱、せき・喉の痛み、その他体調不良など、少しでも違和感を感じる方の無料検査は受付できません。
- ・症状がある場合は、かかりつけ医または「あきた新型コロナ受診相談センター」に電話で相談してください。

無料検査の実施場所（令和4年1月19日時点）

No	市町村	事業所名称	開始日	実施可能な検査方法	
				PCR検査等	抗原定性検査
1	鹿角市	有限会社 黒沢薬局	12月24日		○
2	大館市	木下グループPCR検査センター 大館市指定PCR検査所	12月24日	○	
3	大館市	調剤薬局ツルハドレッジ 大館中道店	1月19日		○
4	能代市	ハッピー調剤薬局能代南店	1月12日	○	○
5	能代市	調剤薬局ツルハドレッジ 能代北店	1月19日		○
6	男鹿市	調剤薬局ツルハドレッジ 男鹿店	1月19日		○
7	男鹿市	調剤薬局ツルハドレッジ 男鹿払戸店	1月19日		○
8	大潟村	調剤薬局ツルハドレッジ 大潟村店	1月19日		○
9	秋田市	木下グループPCR検査センター 秋田市役所店	12月24日	○	○
10	秋田市	雄和薬局	12月24日	○	○
11	秋田市	西岡メディカル薬局秋田河辺店	12月29日		○
12	秋田市	かがや薬局	12月30日		○
13	秋田市	(一社)秋田県薬剤師会 秋田みなみ会営薬局	1月4日		○
14	秋田市	ひろおもて耳鼻咽喉科クリニック	1月12日	○	
15	秋田市	日本調剤 秋田薬局	1月14日	○	○
16	秋田市	あかね調剤薬局中通病院前店	1月14日		○
17	秋田市	(医)杏仁会 御所野ひかりクリニック	1月15日	○	○
18	秋田市	調剤薬局ツルハドレッジ 秋田御所野店	1月19日		○
19	秋田市	調剤薬局ツルハドレッジ 秋田南通店	1月19日		○
20	秋田市	調剤薬局ツルハドレッジ 東通店	1月19日		○
21	秋田市	調剤薬局ツルハドレッジ 秋田川尻店	1月19日		○
22	秋田市	調剤薬局ツルハドレッジ 秋田広面北店	1月19日		○
23	秋田市	調剤薬局ツルハドレッジ 秋田広面店	1月19日		○
24	由利本荘市	木下グループPCR検査センター 由利本荘市指定PCR検査所	12月28日	○	○
25	由利本荘市	日本調剤 本荘薬局	1月14日		○
26	にかほ市	(医)圭尚会 きさかたクリニック	12月27日	○	○
27	大仙市	木下グループPCR検査センター 大仙市指定PCR検査所	12月25日	○	
28	大仙市	日本調剤 大曲薬局	1月14日	○	○
29	大仙市	調剤薬局ツルハドレッジ 大曲福田店	1月19日		○
30	湯沢市	至誠堂薬局	1月12日	○	
31	湯沢市	調剤薬局ツルハドレッジ 湯沢大町店	1月19日		○

※ 所在地や対応日時などの詳細については、秋田県公式ウェブサイトからご確認ください。

(URL:<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/61915>)

新型コロナウイルスワクチンの接種について

令和4年1月19日
健康福祉部

1 県内の接種状況

＜接種実績＞（首相官邸HP：1月18日公表時点）

	1回目	2回目	3回目
総接種回数	820,979	810,885	8,531
全人口の接種率 (971,288人)	84.5%	83.5%	0.9%

※ 首相官邸ウェブサイトの都道府県別公表値（1月17日までの接種回数）

※ 全人口は、令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

＜年代別接種率＞（VRS：1月17日確認時点）

	12～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～64歳	65歳以上
1回目	85.1%	85.4%	83.4%	88.4%	91.2%	91.4%	94.1%
2回目	83.8%	84.7%	82.7%	87.9%	91.0%	91.2%	93.8%

※ 1月16日までにワクチン接種記録システム（VRS）に登録された接種回数（医療従事者等を含む）及び令和3年1月1日住民基本台帳年齢階級別人口による。

2 3回目接種に係るワクチンの供給見込み

＜本県へのワクチン供給見込み・4月使用分まで（前倒し分含む）＞（1月14日時点）

	ファイザー社	武田/モデルナ社	計	接種対象者 (推計)
供給量（回分）	304,200	349,500	653,700	約62.2万人

※ 上記に加え、緊急配送分として武田/モデルナ社ワクチン109バイアル（1,635回分）が12/28に配送された。

3 追加接種（3回目接種）の開始状況

＜追加接種開始時期＞（市町村へのアンケート結果を一部更新：1月18日時点）

	12月	1月	2月	3月
医療従事者等	12	12	1	—
高齢者施設利用者等	—	11	14	—
一般高齢者	—	7	17	1

4 5歳以上11歳以下の者への接種

- ・ 1月20日開催の国の専門家会議で薬事承認の可否を審議予定
- ・ 承認された場合は3月以降に接種開始見込み

感染警戒レベル等について

令和4年1月19日
秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

1 現在の状況

- ・ 全国各地で急速な感染拡大が続いており、政府は、沖縄県など3県に加え、新たに首都圏など13都県を対象区域として、まん延防止等重点措置を適用する方針を決定した。
- ・ 県内においては、3連休明けから新規感染者数の増加が顕著となり、事業所や会食などで複数のクラスターが発生している。
- ・ 特に能代保健所管内における感染者数が増加しており、1つのクラスターが次のクラスターを生むという状況が見られることから、更なる感染の広がりが懸念される状況である。
- ・ 現時点で、感染者のほとんどが無症状又は軽症となっており、重症者は確認されていない。

【保健所別新規感染者数（1月）】

保健所	大館	能代	秋田中央	秋田市	由利本荘	合計
感染者数	8	97	11	80	41	237

2 県の感染警戒レベル

- ・ 能代保健所管内の感染状況を総合的に判断し、同管内における県の感染警戒レベルを「2」から「3」に引き上げる。
【対象地域：能代市・藤里町・三種町・八峰町 対象期間：1月21日～2月4日】
- ・ 能代保健所管内以外の地域については、レベル「2」を維持する。

3 県民への要請内容

I 全県共通

(1) 県外との往来

- ① まん延防止等重点措置区域との不要不急の往来は避けること。やむを得ず往来する場合は、帰県の際のPCR等の検査や健康観察の徹底など感染防止対策を万全にすること。
- ② ①以外の地域との往来は、訪問先等の感染状況を踏まえて判断すること。
特に、感染が拡大している地域との往来は慎重に判断すること。
- ③ 県外との往来に当たっては、不織布マスクの正しい着用、手洗いなどの基本的な感染防止対策を徹底した上で、感染に十分注意して行うこと。
ただし、発熱等の症状がある場合は、往来を控えること。
- ④ 県外との往来の後、無症状であっても感染の不安を感じる場合は、「感染拡大傾向時の一般検査事業（無料のPCR等検査）」を積極的に活用すること。

(2) 感染リスクの回避（オミクロン株対策の徹底）

- ① 飲食を伴う集まりは、「長時間を避け」、「マスク会食」を行うとともに、「参加人数に応じた席の配置」や「十分な換気」を徹底すること。

また、不特定多数による飲酒を伴う会食は控えること。やむを得ず参加する場合は、PCR等の検査を受けるなど、特に感染防止対策を徹底すること。

- ② イベント等の開催に当たっては、「三つの密」が発生しない席の配置や「人と人との距離の確保」、「マスクの着用」など基本的な感染防止対策を徹底すること。

II 能代保健所管内対象（Iの要請に追加）

- ① 集会、イベント等の開催を慎重に判断すること
- ② 混雑する場所をできるだけ避けること
- ③ 職場における感染防止対策を徹底すること
- ④ 飲食店における感染防止対策を徹底すること
- ⑤ 無症状者で感染の不安を感じる場合は、「感染拡大傾向時の一般検査事業（無料のPCR等検査）」を積極的に活用すること。

新型コロナウイルス感染症に係る主な取組の状況について

令和4年1月19日

秋田県新型コロナウイルス感染症対策本部

【飲食店・宿泊施設における感染防止対策への支援等】（生活環境部、産業労働部、観光文化スポーツ部）

（1）飲食店の認証制度

適切な感染防止対策を講じる飲食店を認証する制度の導入

- ・申請期間：R3.5.28～R4.2.28
- ・申請件数：750施設（1.18現在）
- ・認証件数：614施設（1.18現在）

（2）飲食店感染予防環境整備支援事業（新型コロナ対策認証枠）

飲食店の認証取得に向けた設備導入への助成

- ・補助率：4/5（上限額30万円）
- ・申請期間：R3.5.28～R4.2.28
- ・申請件数：464施設（1.17現在）

（3）宿泊施設感染防止対策等支援事業の実施

感染防止対策等ための物品購入や施設改修等に必要な経費への助成

- 感染防止対策のための物品購入等への支援
 - ・補助率：2/3（上限額200万円）※認証取得に向けた取組は4/5
 - ・申請期間：R3.5.28～R4.2.28
 - ・申請件数：111施設（1.17現在）
- 感染防止対策等のための施設改修等への支援
 - ・補助率等：1/2（上限額500万円）※経営改善計画策定は2/3（1,000万円）
 - ・申請期間：R3.6.2～R3.11.19
 - ・申請件数：59施設（1.17現在）

【企業の事業・雇用継続に対する支援等】（産業労働部）

（1）資金繰り支援

売上高が減少している中小企業に対する経営安定資金の無利子・無保証料貸付実施期間 令和4年1月1日～令和4年3月31日まで（相談受付ベース）

- ・新型コロナウイルス感染症対策枠（1/14現在） 445件、140.9億円

（2）雇用維持支援金の給付

雇用維持に努める中小企業に対する雇用調整助成金の受給状況に応じた支援金の給付（1回：10万円、2回：20万円、3回以上：30万円）

- ・交付決定（R3.4.1～7.30）：215事業所、38,400千円（最終）
 - [主な内訳] 製造業：52事業所、9,000千円
 - 卸売・小売：60事業所、10,800千円
 - サービス業：32事業所、5,500千円

(3) PCR等検査に要する費用への助成

中小企業の従業員等が県外出張後に行うPCR等検査の費用への助成

- ・交付決定 (1.17 現在) : 50 件 (103 検査分)、946 千円

(4) 飲食店への支援金の給付

売上が大きく減少した飲食店及び飲食店関連事業者に対し、事業継続を支援するため、支援金を給付

- ・対象者 次の要件をすべて満たす中小企業者等
 - (1) 県内に本店又は主たる事業所を有する中小企業者等 (個人事業主含む)
 - (2) 飲食店又は、飲食店と継続的に直接取引のある事業者 (飲食店関連事業者)
 - (3) 直近決算期の売上が前年度又は、前々年度と比較して20%以上減少していること。
- ・支援金額 1事業者当たり売上金額3千万円につき30万円 (上限300万円)
- ・申請受付 令和4年10月27日～令和4年1月31日まで
- ・申請件数 2,185件 944,400千円(1/14 現在)

(5) 販路開拓・取引拡大を支援

ウィズコロナに対応した新たなスタイルの展示会等への出展を助成

- ・交付決定 (一次募集 R3.7.7～8.6) : 13 件、2,902 千円
(二次募集 R3.8.16～9.30) : 2 件、277 千円
(三次募集 R3.10.4～12.10) : 5 件、1,323 千円
- ・補助率 : 1/2 (上限額 30 万円)

【宿泊・観光需要の喚起等】 (観光文化スポーツ部)

(1) 「旅して応援！」あきた県民割キャンペーンの実施

○ 県内旅行代金の割引

県内在住者を対象に、県内を目的地とする旅行商品 (日帰り含む) 及び宿泊代金について、1人1泊 (日帰りは1回) 当たり5,000円を上限に割引

- ・対象期間 : 令和3年12月31日 (1/1チェックアウト) まで
ただし、10月31日までに予約・販売されたものに限る。
- ・精算状況 (1.4 現在 速報値) : 1,897,871 千円 ※精算率 90.8%

○ 地域限定クーポン券の発行

土産店、飲食店等で旅行期間中に使用できる地域限定クーポンを1人1泊 (日帰りは1回) 当たり最大2,000円を上限に配布

- ・精算状況 (1.4 現在 速報値) : 831,404 枚、831,404 千円 ※精算率 99.4%

(2) 「秋田の魅力を再発見！」旅行商品造成支援事業の実施

県内の魅力を感じられる県民向け旅行商品の造成・販売を支援

- ・送客助成 : 1人当たり 3,000円 ・バス助成 : 1台当たり 75,000円
- ・対象期間 : 令和3年10月31日まで
- ・実績状況 : 27社、202本、34,028千円

(3) 冬季宿泊・観光関連事業者支援事業（あきた冬割キャンペーン!）の実施

○ 宿泊事業者への助成

冬季の県民向け宿泊プランを造成し、割引価格で販売した宿泊事業者に対して、1人1泊当たり5,000円を上限に助成する。

・対象期間：令和3年11月19日～令和4年2月28日

・対象者：県内在住者※令和4年1月1日から隣接4県の在住者を追加

(1.15から青森県を除外)

・助成額：1/2（上限5,000円）

・限度額：1事業者当たり250万円

・人泊数：172,500人泊（予定）

・精算状況（1.11現在 速報値）：408件 84,436千円 ※精算11.5%

○ 観光関連施設応援クーポンの発行

上記宿泊プランの利用者に対し、旅行期間中に使用できるクーポンを1人1泊当たり1,000円分を配付する。

・対象施設：観光関連施設（道の駅、土産店、観光体験施設等）

・配付枚数：172,500枚（予定）

・精算状況（1.11現在 速報値）：19,290千円 ※精算11.9%

(4) スキー場を活用した冬季誘客促進事業の実施

スキー場への誘客により冬季観光の振興を図るため、県内在住者を対象としたリフト代金等の割引券を発行する。

・発行枚数：2,000円割引（リフト・食事等） 10,000枚

7,000円割引（リフト・食事＋レンタル等） 5,000枚

・対象施設：秋田県スキー場協会加盟14スキー場

・対象期間：令和3年12月～令和4年3月上旬

・精算状況（1.11現在 速報値）：2,259千円 ※精算率4.2%

(5) 冬季旅行商品造成支援事業の実施

冬季における旅行商品の開発・魅力増進を図るため、県内の旅行業者に対し、秋田の魅力ある県民向け冬季旅行商品の造成・販売を支援する。

・補助先 県内の旅行業者

・補助額 送客補助 1人当たり上限 6,000円

広告補助 1社当たり上限 300,000円

・限度額 1事業者当たり530万円

・対象期間 令和3年11月～令和4年2月まで

・申請状況 (1.11現在) 26社、44,737千円（宿泊5,291人泊、日帰り4,387人）

(6) 県内空港利用促進緊急対策事業の実施

全国的な感染の再拡大や県内感染者の増加傾向等を踏まえ、事業の実施を当面の間延期する。

○ 県内空港県民利用促進事業

県民が航空路線を往復利用する場合、航空運賃の一部をキャッシュバックする。

・対象者：秋田空港、大館能代空港の航空路線を往復利用する県内居住者

※旅費が支給されるビジネス利用やマイレージ等による無償利用は対象外

・助成額：5,000円/1往復

・対象期間：令和4年1月15日～2月28日（申請期限3月8日）

○ 空港ターミナルビルテナント利用促進事業

航空路線利用者が空港ビル内のテナントで使用可能な割引クーポンを発行する。

- ・対象者：秋田空港、大館能代空港の航空路線利用者
- ・額面：1,000円（税込2,000円以上の商品購入・飲食に使用可能）
- ・発行枚数：秋田空港 10,000枚 大館能代空港 2,500枚
- ・使用期間：令和4年1月15日～2月28日（発行は2月23日まで）

【県産品の消費喚起】（観光文化スポーツ部）

（1）県産品のネット販売拡大の支援

県産品の消費喚起を図るため、県産食品をネット販売する県内事業者の送料等を助成

- ・対象期間：令和3年4月27日～令和3年10月31日
- ・実績状況（12.20現在）：補助実績18,168千円（18社）

（2）県産品消費喚起キャンペーンの展開

県内量販店等の県産品コーナー等で購入した商品を県外に発送する際に送料が軽減されるキャンペーンを展開

- ・対象期間：令和3年5月1日～令和3年8月31日
- ・実績状況（12.20現在）：補助実績11,030千円（12社）、発送件数23,896件

【学校における新型コロナウイルス感染症対策の強化】（教育庁）

校内の消毒作業など新しい生活様式に対応した校内環境の整備に当たるサポーターの配置

- ・18市町村の小・中・義務教育学校に91名配置（4.1～）

【全国大会参加者等へのPCR検査支援】（観光文化スポーツ部、教育庁）

（1）国民体育大会参加選手等における感染検査の実施

東北総合体育大会及び国民体育大会に参加する選手団等の感染予防対策を徹底するため、選手・監督・役員等について大会出場に係るPCR検査を実施

○東北総合体育大会（開催地：山形県、主会期：R3.8.20～R3.8.22）

（19競技 370人にPCR検査を実施）

結果判明数：370人 全て陰性

※国民体育大会（本大会）については中止により実績なし

（2）全国大会等出場校における感染検査への支援

対象者：部員、引率者 等

対象大会：全国組織及び東北地区の各連盟（高体連・高野連・中体連・高文連等）が主催・共催する大会及び全国障害者スポーツ大会

予算額：259,120千円

申込者数：526団体（3,700人） ※1.17時点

結果判明数：3,402人 全て陰性

【道の駅、空港等における注意喚起】（建設部）

注意喚起ポスターを、道の駅、高速道路のSA・PA、空港ターミナル、都市公園等へ掲示中